

2019年度グローバル・プロフェッショナル・プログラム受講生 募集要項

1. 趣旨・目的

国際社会の中で日本の研究界および産業界のプレゼンスを高めることに貢献するグローバル・プロフェッショナル（トップ研究者、トップ技術者、プロフェッショナル人材）を育成します。本プログラムに参加することで、国際社会の中で専門性を発揮するために必要な思考力、コミュニケーション力の強化に注力し、社会を牽引し得るリーダーシップ精神を身につけることができます。

専攻で身につけた専門的知識や研究能力を遺憾なく発揮し、科学者の立場から実社会の国際的課題の実際の解決を目指す、そのための自分なりのアプローチを見つけてみませんか。国際社会で専門性や強みを発揮し活躍の場を広げるための、スキルやマインドといった一生の財産を築けるプログラムです。

2. グローバル・プロフェッショナルプログラムの特徴

- 自分の専門性を、国際社会で発揮していくための「2つの実力」を獲得できます。

実力1： 使える英語力。日本語からコミュニケーションの本質を知るところからスタートし、最終的には、多様な人材と信頼関係を築けるコミュニケーション力を構築する。
実力2： 思考力構築。創造的思考や未来的思考などの多様な思考方法を習得する。

- 海外研修を実践の場とし、実力を磨くことができます。
- 多様なニーズをサポートする複線型キャリアパス（途中参加、飛び級、中止・再開）が可能です。

※プログラムや履修形態についての詳細は『履修案内』をご参照ください。

3. プログラム参加に必要な要件

語学や思考構築について学ぶ意欲があり、海外研修に行く意欲がある学生は、どなたでもプライマリーから参加できます。

ミドルから途中参加を希望する場合は表1の要件を、トップから途中参加を希望する場合は表2の要件を、それぞれ満たせば途中参加も可能です。

表1

1	Integration of Theory and Practice、プライマリーで開講する「思考構築プログラム」に準拠するプログラム、課外活動、インターンシップ等の経験
2	TOEIC645点以上、TOEFL(iBT)68点以上、TOEFL(PBT)520点以上、いずれか取得
3	GPA2.5以上

表2

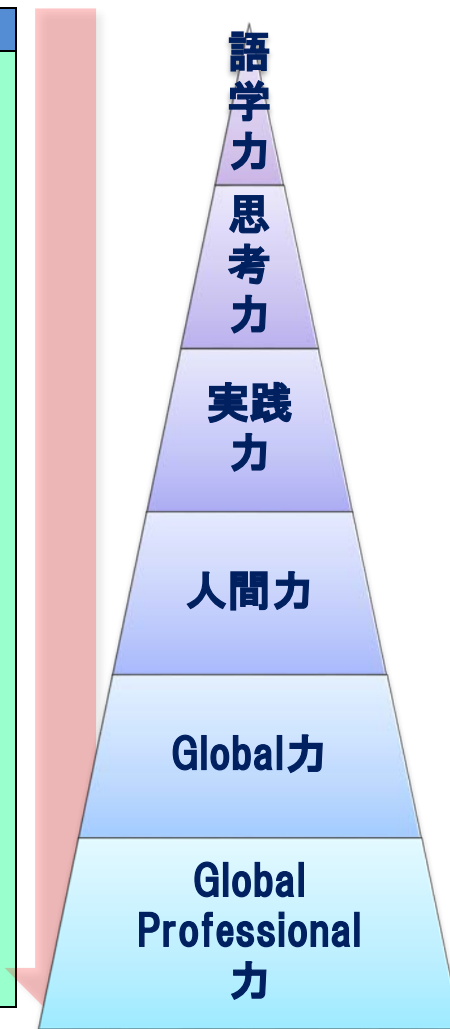
1	指導教員の承諾
2	Integration of Theory and Practice、プライマリーで開講する「思考構築プログラム」に準拠するプログラム、課外活動、インターンシップ等の経験
3	TOEIC730点以上、TOEFL(iBT)80点以上、TOEFL(PBT)550点以上、いずれか取得
4	GPA2.5以上

4. グローバル・プロフェSSIONALプログラムの受講イメージ<Basicプラン> ※各自のキャリアに合わせて途中参加等フレキシブルにプランできる

特長1：段階的に着実にグローバル・プロフェSSIONALへの実力を積み上げることができます。

特長2：定期的に自己成長の状態を把握し、将来のキャリアの可能性を複数デザインすることができます。

	7月	8~9月	10~12月	1月	2月	3月
プライマリー (1年目)	オリエンテーション ・キャリアデザイン ・履修登録	夏季集中講義 ・Academic English for Scientists	後期集中講義 ・思考構築プログラム	カウンセリング ・個別面談 ・キャリアデザイン	進級審査	成果報告会
プライマリー (2年目)		夏季集中講義 ・英語テスト対策講座 ・Introduction to Global English	後期集中講義 ・Japanese Science and Technology			
ミドル (3年目)		夏季集中講義 ・英語テスト対策講座 ・ディスカッション講座 ・Global Communication	後期集中講義 ・Frontiers in Agricultural Research		海外派遣	
ミドル (4年目)		夏季集中講義 ・英語テスト対策講座 ・ディスカッション講座	TA (思考構築プログラム)		進級審査	
トップ (5年目)		夏季集中講義 ・Global English for Advanced	海外インターン		学術論文発表	
トップ (6年目以降)		夏季集中講義 ・英語テスト対策講座 ・ディスカッション講座	RA (思考構築プログラム)		レベルチェックプログラム	



※赤字は GPP の単位修得に含まれない特別講座

※上記以外にも、「国内プチ留学プログラム」「英語 de ランチ」「キャリア相談」等、年間を通して、自由に参加できるプログラムを提供

5. 海外渡航費用

外部機関連携海外派遣研修Ⅰにかかる研修費、渡航費（航空運賃）については大学が負担します。但し、宿泊費（ホテル代）については自己負担になる可能性があります（大学の予算状況を勘案し随時決定します。再度、海外派遣公募時に詳細を説明します）。また、パスポート申請費用、査証（VISA）取得にかかる費用、海外旅行保険の加入に係る費用、国内・現地での移動に係る経費（通学費、現地の空港から／までの交通費を含む）、飲食費（朝・昼・夕）、お小遣い、土産代などは、自己負担での支出となります。なお、自己都合によるキャンセルの場合、キャンセル料は自己負担となります。

6. 応募・選考

(1) 応募資格

- ① 全学部、全学府、学部 1 年から博士課程生に在籍する学生
- ② 語学を学ぶ意欲があること、また、海外研修に行く意欲があること
- ③ ミドル、トップからの途中参加を希望する学生は、各々前述の表 1、2 に示す要件を満たすこと

(2) 応募書類

- | | |
|------------------------|-----|
| ①プログラム参加願書（本学所定の様式による） | 1 部 |
| ②志望理由書 | 1 部 |

(3) 応募・選考スケジュール

- 申請締切 : 2019年6月14日（金）14:00（時間厳守）
- 提出先 : 所属学部のレポートBOX（問い合わせは下記「6. 本プログラムの運営組織」まで）
- 第1次選考（書面審査） : 2019年6月17日
- 第2次選考（面接審査） : 2019年6月24日～7月5日頃【予定】
- 選考結果通知 : 2019年7月9日頃【予定】

(4) 選考基準

- ①第1次選考：書面審査 ※申請書の内容から総合的に評価。
- ②第2次選考：面接審査
※以下の内容に関する質疑応答により、学力とともに本プログラムへの理解と意欲、海外派遣プログラム等への参加経験などから、総合的に評価。
 - (1) 志望動機・抱負
 - (2) プログラムを通しての学習目標
 - (3) 将来の進路希望
 - (4) 海外への意欲や経験

7. 本プログラムの運営組織

- 責任者 : 東京農工大学 グローバル教育院 グローバル教育院 院長 有江 力
- 担当者 : 東京農工大学 グローバル教育院 特任准教授 村山 眞理
(m-mura@cc.tuat.ac.jp)
- 事務担当 : 東京農工大学 グローバル教育院
TEL : 042-367-5949 E-mail : gppstaff@m2.tuat.ac.jp